みずほオートリース通信

2025年11月号

自動車の盗難対策をしていますか？

自動車盗難の発生状況

自動車盗難の認知件数

警察庁の発表では、自動車盗難の認知件数は平成15年[2003年](64,223件)をピークに、令和6年[2024年](6,080件)にはピーク時の1割以下にまで大幅に減少しています。ただし、令和4年[2022年]以降でみると、近年は再び増加傾向にあることが確認できます。

（単位　認知件数・検挙件数：件、検挙人員：人、増減率・検挙率：%）

	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6
認知件数	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,668	25,960	23,970	25,238	21,319	21,529	16,104	13,821	11,655	10,213	8,628	7,143	5,210	5,182	5,734	5,762	6,080
増減数(前年比)	1,550	-5,486	-12,009	-10,670	-4,268	-4,122	-1,708	-1,990	1,268	-3,919	210	-5,425	-2,283	-2,166	-1,442	-1,585	-1,485	-1,933	-28	552	28	318
増減率(前年比)	2.4	-9.3	-25.7	-29.6	-13.4	-14.9	-6.6	-8.3	5.0	-18.4	1.0	-33.7	-16.5	-18.6	-14.1	-18.4	-20.8	-37.1	-0.5	9.6	0.5	5.2
検挙件数	11,931	13,765	14,898	13,288	13,507	12,569	9,557	8,433	8,377	7,556	7,857	6,689	6,755	5,713	5,357	4,248	3,845	3,006	2,556	2,612	2,462	2,683
検挙人員	4,599	3,823	3,366	3,056	2,380	2,228	2,045	1,837	1,856	1,708	1,484	1,375	1,224	1,100	1,034	914	778	666	634	625	745	600
検挙率	18.6	23.4	31.9	36.9	42.5	45.4	36.8	35.2	33.2	35.4	36.5	41.5	48.9	49.0	52.5	49.2	53.8	57.7	49.3	45.6	42.7	44.1

令和6年の認知件数の内、「キーなし」の比率は75.2%と、概ね4台に3台が「キーなし」の状態で被害に遭っています。また、被害場所は「一般住宅の車庫」が42.9%と最も多く、次いで「駐車場」での発生が27%となっています。

＊「キーなし」:キーをイグニッションスイッチに差し込んだまま(もしくはキーを車内に放置したまま)**ではない**状態

自動車盗難の実態

犯罪組織が関与しているケースでは、盗難車両はそのまま海外に輸出されるだけでなく、解体され中古部品として売却されたり、他の盗難車両と合体させて真正な車両として不正に登録を受け、販売・流通させることがあります。また、盗難車両のナンバープレートを別の車両に取り付け、他の犯罪に使用されるケースもあります。

被害の対象としては、市場価値が高く、海外での需要が多い高級車や新型車が被害車両の上位に多く見られます。また、乗用車だけではなく、バンタイプの商用車やトラックでも被害が発生しています。

「スマートキー」の仕組みを悪用した盗難手口

「スマートキー」は現代の車ではほぼ標準装備となっていますが、その利便性が盗難の手口となることがあります。

- リレーアタック:スマートキーから出ている微弱電波を特殊な機器で受信・増幅させ、キーを持っていないにもかかわらず、キーが近くにあると車両に誤認させて解錠・エンジンを始動させる手口。
- CANインベーダー:車両のバンパーやタイヤ付近などから特殊な機器で車載コピュータ(CAN通信)に直接つなぎ、ロックを解除してエンジンを始動させる手口。

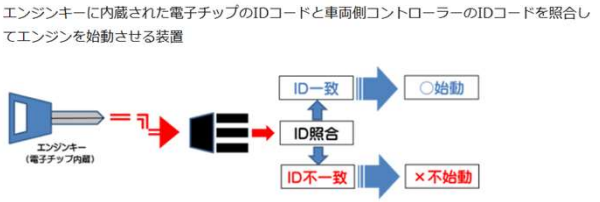
盗難防止対策

- 短時間でも車両から離れる時は、完全に窓を閉め、ドアをロックし、キーを車内に放置しないようにする。
- 以下のような自動車盗難防止装置を活用する

（タイヤロック）

（ハンドルロック）

（イモビライザー）



（GPS機能付き位置探査装置）

（警報装置：ガラスの破壊など衝撃を感知した時、警報音を発する）

- リレーアタック、CANインベーダーの対策
  スマートキーを玄関先に置かず、電波を遮断できるケース（金属缶など）に入れる。
  CANインベーダーは、左フロントバンパー付近から特殊機器をつなげる手口が多いため、車両の左側面を壁際に駐車し、左前のタイヤ付近に人が入り込めないようにするのも対策のひとつのようです。

車の保管場所、駐車場対策

- 被害場所で多いのは自宅車庫です。防犯カメラやセンサーライトを設置することで抑止効果が期待できます。
- 外出先で駐車場を利用する時は、見通しがよく、防犯カメラや照明などの設備がある場所を利用しましょう。また、車内に現金やカバンなどを置いたままにすると、犯罪を誘発する可能性がありますので、注意が必要です。

画像、出典：警察庁「自動車盗難等の発生状況等について」https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/bouhan/car/2025zidoushatounan.pdf
警視庁「自動車盗の防犯対策」https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/higai/guard/car_bohan.html
より一部引用し、当社で作成

Copyright (c) Mizuho Auto Lease Co., Ltd. All Rights Reserved.